

小・中学校評価規準系統表

		聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと
知識・技能	小学校第5学年	(知)英語の特徴や決まりに関する事項を理解することができる (技)実際のコミュニケーションにおいて、自分のことや身近な事柄などについて話される簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる	(知)英語の特徴や決まりに関する事項を理解して読むことができる (技)実際のコミュニケーションにおいて、活字体の文字を識別することができる	(知)英語の特徴や決まりに関する事項を理解して読むことができる (技)実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる	(知)英語の特徴や決まりに関する事項を理解して読むことができる (技)実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話すことができる	(知)英語の特徴や決まりに関する事項を理解して読むことができる (技)実際のコミュニケーションにおいて、大文字、小文字の活字体を書くことができる
	小学校第6学年	(技)実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近な事柄などについて具体的な情報を聞き取ることができる	(技)実際のコミュニケーションにおいて、活字体の文字を発音することができる	(技)実際のコミュニケーションにおいて、自分のことや身近な事柄などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる	(技)実際のコミュニケーションにおいて、自分のことや身近な事柄などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話すことができる	
	中学校第1学年	(技)実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉えることができる	(技)実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉えることができる	(技)実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる	(技)実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話すことができる	(技)実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書くことができる
	中学校第2学年					
	中学校第3学年					
思考・判断・表現	小学校第5学年	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄を聞いて、概要を捉えることができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄などについて書かれた簡単な語句や基本的な表現を読んで意味を理解することができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを話すことができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄などについて簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる
	小学校第6学年	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄を聞いて、概要を捉えることができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて書かれた簡単な語句や基本的な表現を読んで意味を理解することができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを話すことができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、自分のことや身近で簡単な事柄について、書くことができる
	中学校第1学年	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えることができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれている短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えることができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話すことができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書くことができる
	中学校第2学年					
	中学校第3学年					
主体的に学習に取り組む態度	小学校第5学年	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で話されたものを聞こうとしている	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で書かれたものの意味を分かろうとしている	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて書き写そうとしている
	小学校第6学年					外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて書き写したり書いたりしようとしている
	中学校第1学年	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いて読もうとしている	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いて読もうとしている	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いて発表しようとしている	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いて書こうとしている
	中学校第2学年					
	中学校第3学年					

単元名 Unit 5 Living with Robots—For or Against		関連する学習指導要領の領域別目標				
		聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
単元目標 ・人やものについて情報を加えた文や、疑問詞を使って何かを知っているかなどを述べた文を理解することができる。(知識、理解) ・相手の意見を受けて、自分の考えを述べながら議論をすることができる。(思考力・判断力・表現力) ・相手の意見等を踏まえて、自分の考えを英語で伝えようとする。(主体的に学習に取り組む態度)		ウ	ウ	ウ		
		評価規準				
児童生徒に付けたい力 相手の意見を受けて、自分の考えを述べながら議論する力		知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
見取る言語活動の目的設定(Task・・・何ができるようにするのか Text・・・話題、内容 Condition・・・支援 Quality・・・英語の質)		人やものについて情報を加えた文を聞いたり、言ったりすることができる	相手の意見を受けて、自分の考えを述べながら議論することができる	相手の意見等を踏まえて、自分の考えを詳しく説明しながら英語で伝えようとする		
Task	Text	Quality	Condition	新出表現		既習表現
5分以上議論することができるようになるために	「中学生にスマホは必要か必要でないか」について	自分の意見を述べるための文の構成を駆使しながら	4人～6人のグループで行う。	・Do you know the boy playing the guitar? ・I Know what you mean?		・Do you know the boy? ・The boy is playing the guitar.
付けたい力を見取るための言語活動 「中学生にスマホは必要か必要でないか」について4～6人のグループで、5分以上議論することができる。						
	聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと	
小学校中学年	ア ゆっくりはっきり読まれた際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。 イ ゆっくりはっきり読まれた際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。 ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。		ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示を示したり、それらに応じたりできるようにする。 イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。 ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりできるようにする。	ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 イ 自分自身について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。		
小学校高学年	ア ゆっくりはっきりと読まれれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 イ ゆっくりはっきりと読まれれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。 ウ ゆっくりはっきりと読まれれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要をと捉えることができるようになる。	ア 活字で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。 イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようになる。	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。 イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようになる。 ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようになる。	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようになる。 イ 自分自身について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようになる。 ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようになる。	ア 大文字や小文字を活字で書くことができるようになる。また、語順を意識しながら音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようになる。 イ 自分自身や身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようになる。	
中学校	ア はっきりと読まれれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと読まれれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようになる。 ウ はっきりと読まれれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようになる。	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようになる。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようになる。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようになる。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して関心を持ちたりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようになる。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようになる。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して関心を持ちたりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話すことができる。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようになる。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して関心を持ちたりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて書くことができるようになる。	

* 目標(◆)と主な活動(◎)は本時の中心活動 * 「目標・評価」の「目標」は、上記の表を見て、ア、イ、ウで表記(2領域以上設定する場合は、重点領域を○で囲む)
* 「目標・評価」の「評価」は、「学校段階別評価規準系統図」(別紙)を見て、「知技」思判表「主」で表記(2観点以上設定する場合は、重点観点を○で囲む)

◆簡単な話題について議論することができる						
1	Warm Up	Small Talk (オリンピックで何の競技を見たいか)				
	導入	英語新聞の紹介記事に関する動画を見る。				
	主な活動	◎簡単な話題について議論する。				
	目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
				ア・知技		
◆人やものに情報を加えて、英語で書くことができる						
2	Warm Up	○Small Talk (お掃除ロボットか会話ロボット、どちらがほしいか)				
	導入	P71 Listen				
	主な活動	◎人やものに情報を加えて、自由英作文を書く				
	目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
				ア・知技		ア・知技
◆関節疑問文を用いた英語のクイズに回答することができる						
3	Warm Up	○Small Talk (どんなロボットがほしいか)				
	導入	光太とディーパの会話のcut-upsを正しく並べかえる				
	主な活動	◎「Do you know who he is?」などの間接疑問文のクイズ				
	目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
				ア・思判表		
◆ロボットは必要か必要でないかについて議論することができる						
4	Warm Up	○Small Talk (リラックスするために何をするか)				
	導入	「Do you know where he live?」などのクイズに答える				
	主な活動	◎ディベート「ロボットは必要か必要でないか」				
	目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
				ウ・思判表		

◆ディーパと光太の議論の内容を読み取ることができる						
5	Warm Up	○Small Talk (何があなたをわくわくさせるか)				
	導入	ディーパと光太の議論を動画で見る				
	主な活動	◎T or F, Q&A(デジタル教科書より)				
	目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
			ウ・主 (ウ・思判表)			
◆咲とアレックスの意見を読み取ることができる						
6	Warm Up	○Small Talk (何があなたを怖がらせるか)				
	導入	咲とアレックスの議論を動画で見る				
	主な活動	◎T or F, Q&A(デジタル教科書より)				
	目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
			ウ・主 (ウ・思判表)			
◆Read and think 1、2の中で誰の意見に賛成・反対か、理由を含めて書くことができる						
7	Warm Up	○Small Talk (1日自由時間を手に入れたら何をしたか)				
	導入	誰の意見に賛成・反対か、全体に尋ねる				
	主な活動	◎誰の意見に賛成・反対か、理由を含めて書く				
	目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
						ウ・主 (ウ・思判表)
◆中学生にスマホは必要か必要でないかについて議論することができる						
8	Warm Up	○Small Talk (大人になりたいか、なりたくないか)				
	導入	P78 Activity 1				
	主な活動	◎中学生にスマホは必要か必要でないかについての議論をする				
	目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
				イ・主 (ウ・思判表)		

小・中学校接続・連携経過表

レベル	学年間・学校間の接続・連携の現状	小・中接続・連携の現状
レベル0	連携の予定・計画がない	連携の予定・計画がない
レベル1	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である
レベル2	紙面上での交流を行っている	紙面上の交流を行っている
レベル3	普段の授業についての交流会・協議会を行っている	普段の授業についての交流会・協議会を行っている
レベル4	年数回の授業参観を行っている	年数回の授業参観を行っている
レベル5	授業参観をした後、交流会・協議会を行っている	授業参観をした後、交流会・協議会を行っている
レベル6	TTの授業実践を行っている	TTの授業実践を行っている
レベル7	接続を見通した目標や指導内容等についての交流会・協議会を行っている	接続を見通した目標や指導内容等についての交流会・協議会を行っている
レベル8	各学年の年間指導計画の内容を把握している	各学年の年間指導計画の内容を把握している
レベル9	4年間を見通した年間指導計画を立てている	7年間を見通した年間指導計画を立てている
レベル10	接続を見通して目標・指導内容等について、実践結果を踏まえ、さらによりよいものとなるよう検討が行われている	接続を見通して目標・指導内容等について、実践結果を踏まえ、さらによりよいものとなるよう検討が行われている